

外皮消毒剤

指定医薬部外品

速乾性擦り込み式手指消毒剤

ヒアルロン酸
オリーブ油
配合

VDハンドジェル

(エタノール 76.9~81.4vol%含有)

2022年春頃に新デザイン変更予定



60mL



250mL



500mL

● 特 徴 ●

- 添加物としてクエン酸と硫酸亜鉛を配合することにより、ノロウイルスなどのノンエンベロープウイルスを含む各種ウイルス・真菌・細菌など広範囲な微生物に対して、迅速な消毒効果を発揮します。
- ジェルタイプなので液の飛散や手指に擦り込むときのこぼれ落ちが防止できます。
- 手荒れ防止剤としてグリセリン、ミリスチン酸イソプロピル、N-ヤシ油脂肪酸アシル-L-アルギニンエチル-DL-ピロリドンカルボン酸塩、オリーブ油及びヒアルロン酸を配合しているため、手指に優しく、べたつき感の少ない消毒剤です。
- 速乾性であるので、タオルもいらない、緊急対応に適しています。

製造販売元
兼一薬品工業株式会社

大阪市西淀川区姫島3丁目5番23号

OSAKA KANEICHI PHARMACEUTICAL CO., LTD JAPAN

指定医薬部外品

外皮消毒剤（速乾性擦り込み式手指消毒剤）

VDハンドジェル

VD HAND JEL

承認番号	22800DZX01648000
承認年月	2016年12月
販売開始	2016年12月

火気厳禁 第4類アルコール類
水溶性 危険等級II

使用上の注意



してはいけないこと



（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）

- 次の人は使用しないこと
患部が広範囲の人、深い傷やひどいやけどの人
- 次の部位には使用しないこと
損傷のある手指・皮膚・口唇等の粘膜の部分、目の周り
（局所刺激作用があります）

相談すること



- 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - 医師の治療を受けている人
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - 今までに薬や化粧品等によるアレルギー症状（例えば、発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等）を起こしたことがある人
- 使用后、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ

効能・効果

手指・皮膚の洗浄・消毒

用法・用量

そのまま手指に塗布又は塗擦

<用法・用量に関連する注意>

- 定められた用法・用量を守ること。
- 本剤は希釈せずに原液のまま使用すること。

成分

有効成分としてエタノール（C₂H₆O）76.9~81.4vol%、添加物としてグリセリン、クエン酸水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、ミリスチン酸イソプロピル、N-ヤシ油脂肪酸アシル-L-アルギニンエチル-DL-ピロリドンカルボン酸塩、オリブ油、硫酸亜鉛水和物、ヒアルロン酸ナトリウムを含む。

保管及び取扱い上の注意

- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる）。
- 直射日光の当たらない、なるべく涼しい所に密栓して保管すること。
- 本剤はアルコールを含有しているため、床にこぼれると変色する場合がありますので注意すること。
- 使用期限の過ぎた製品は使用しないこと。
- 火気を近づけないこと。

包装・梱包・JANコード

包装	梱包	JANコード	
60 mL	10本入	4987556236014	
250 mL	10本入	4987556236021	(ポンプ付)
500 mL	10本入	4987556236038	(ポンプ付)

消毒効果 (in vitro試験)

VDハンドジェルのin vitroにおける消毒効果について試験した結果、いずれの供試菌に対しても15秒以内で消毒できることが確認されました。

供試菌		殺菌時間
グラム陽性菌	黄色ブドウ球菌 (<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC25923)	15秒以内
グラム陰性菌	大腸菌 (<i>Escherichia coli</i> ATCC25922)	15秒以内
	緑膿菌 (<i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC27853)	15秒以内
	変形菌 (<i>Proteus mirabilis</i> TOH0140512)	15秒以内
	肺炎桿菌 (<i>Klebsiella pneumoniae</i> TOH0140502)	15秒以内
真菌	カンジタ菌 (<i>Candida albicans</i> TOH0140801)	15秒以内

<東邦微生物病研究所>

ウイルス不活化効果 (in vitro試験)

VDハンドジェルのin vitroにおけるウイルス不活化効果について実使用を想定した条件(タンパク質負荷条件)で試験した結果、いずれの供試ウイルスに対してもウイルスの感染価の減少率(不活化率)99.99%以上減少できることが確認されました。

供試ウイルス		不活化率(%) 【作用時間】
ノンエンベロープウイルス	ネコカリシウイルス F-9 (ノロウイルス代替) <i>Feline calicivirus F-9</i> ATCC VR-782	>99.999 【15秒】
エンベロープウイルス	インフルエンザウイルス A (H1N1) 型 <i>Influenza A virus (H1N1) A/PR/8/34</i> ATCC VR-1469	>99.995 【15秒】

<日本食品分析センター>